

令和 5 年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

呉中央中学校区 校番13 呉中央中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	学園として、小学校と連携を取り、これまでの取組と本年度の生徒の実態を踏まえて適切に設定されていると思います。「あいさつ」「返事」「時間」「掃除」の目標達成値を100%にして、さらに取組を進めることもできそうです。
目標達成のための方策の適切さ	A	各々の短期経営目標達成のための方策としても、とても考慮しており、適切であると思われる。これは絶対に必要だというような目玉の項目も考えてみてはどうでしょうか。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	生徒と保護者に対して合計44項目のアンケートを実施し、丁寧に集計され、前回と比較して分かりやすくまとめていました。どの項目も前回よりも肯定的評価が上がっていて、学校の取組の成果が出ていると思います。通過率30%未満の生徒の割合については大変努力されていると思います。継続した取組をお願いします。
今後の改善策(案)の適切さ	A	分析結果に基づいた改善策が立てられていると思います。コロナで制限されていた文化祭等の活動により、生徒の自己有用感や達成感等の高まりが期待できると思います。継続は力になりますので、よろしくをお願いします。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・課題のある生徒さんもおられると思いますが、どのクラスも教室や体育館で落ち着いて学習している姿が見られ、先生方の日々の取組の成果を感じました。 ・教職員によって仕事の量の差があったり、世の中の事件に関わって業務(調査・防止策)が急に増えたりと、勤務時間内で収めるには難しいことも多くあると思われます。業務改善は大変難しいと思いますが、根気強く進めてください。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>・「あいさつ」「返事」「時間」「掃除」について、生徒会の主体的な活動ともつなげていくとともに、全教職員の共通認識のもと、学校全体で取組を進めていく。粘り強く励ましながら取組を進め、それぞれの項目の肯定的評価を100%に近づけていきたい。</p>
--------------------	---